

## 精神療法・心理療法の工夫と楽しみ



無料パート 『精神科医と心理師の連携と協働』

有料パート 『精神療法・心理療法の工夫と楽しみ』

対談者 原田誠一（原田メンタルクリニック）  
西川公平（CBTセンター）

司会 浅野憲一（目白大学）

### 対談テーマ（一部抜粋）

#### 無料パート

- ・医師の視点・求めていることが知りたい
- ・100の言葉より1錠のセルシン？！
- ・カウンセリングのオーダーが出ない/ざっくり
- ・医師から心理師に、どうオーダーを出すと良いか
- ・医師多忙！意思疎通が難しい・・・協働のための配慮
- ・リファアのタイミングとリファア先選び
- ・カウンセリング後のカルテの書き方
- ・発達障害の診断について

#### 有料パート

- ・安全な関係性を構築して、自己肯定感を育むには
- ・イメージを用いた治療（プレイセラピーや箱庭）とCBTのインタラクション
- ・回復するため・自分を休ませるための心理教育のコツ
- ・トラウマインフォームドケアからみた気分障害・不安症への心理教育おび対応
- ・複雑性PTSDを持つ人との関係性の作り方、心理教育

視聴期間 **2021年7月31日**まで  
申込締切 **2021年7月22日**

【対談者】医師 原田 誠一、西川 公平、西川 公平の主治医西川 公平医師  
大分県立総合医療センター精神科部長（西川公平）

【対談会場】視聴のみ→1000円  
対談者5名も、聴取者一人一人も500円

【参加申込】下記URLから申し込みください  
<https://cbtcenter.jp/event/itemid=2670>

【申込先】[cbt@cbtcenter.jp](mailto:cbt@cbtcenter.jp)（一社）CBT研究所事務局

主催 一般社団法人CBT研究所 協賛 CBTセンター



臨床心理士ポイント  
申請予定  
（両パート視聴者）

団体参加でお得！  
皆でご参加ください

## 創設者

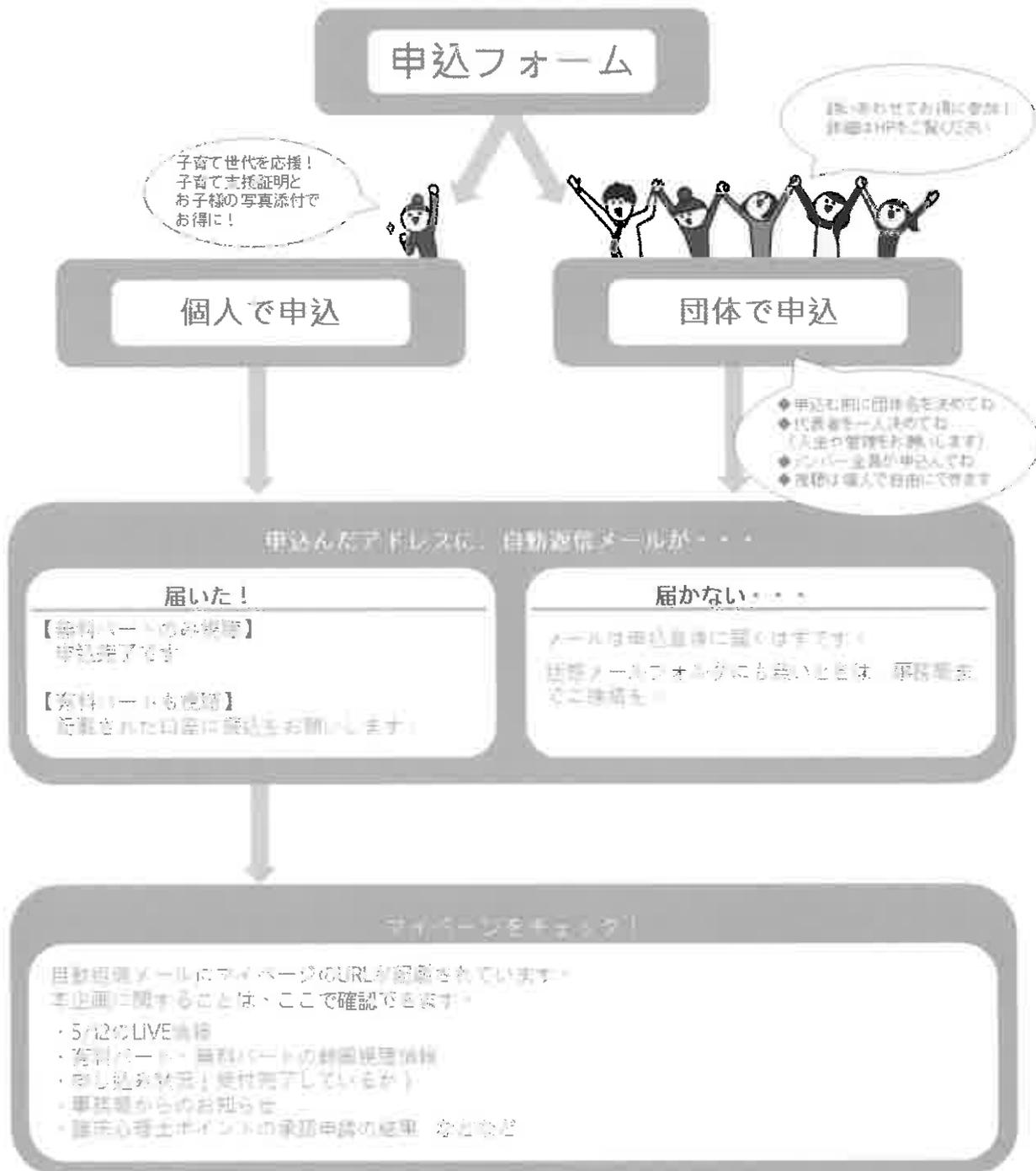


原田 誠一 原田メンタルクリニック 院長  
 国立精神・神経センター武蔵病院(現・国立精神・神経医療研究センター 病院) 外来部長を経て、平成18年7月、東京 飯田橋に原田メンタルクリニック・東京認知行動療法研究所を開院。  
 奈良県立医科大学精神科、大正大学 学習院大学臨床心理士学科、非常勤講師を併任。



西川 公平 CBTセンター／(一社)CBT研究所 代表  
 元々精神科、心療内科のクリニックに勤務し、薬物療法が著効しない患者に対して認知行動療法を行ってきた。2005年にCBTセンターを開業、依頼、医療、産業、教育司法と分野をまたいで連携している。  
 これまで多くの教育・研修事業も行っている。2021年に念願のラボ(一般社団法人CBT研究所)を設立。

## 申込～視聴までの流れ





専修大学  
人間科学部心理学科教授

澤幸祐

第1部『臨床と研究がお互い役立つためには？』  
ガチ研究者とガチ臨床家のゆるふわ対談

Live配信 2021年5月13日(木) 19:00~21:00

録画配信 後日配信予定

【司会】 二瓶正登  
(専修大学・日本学術振興会特別研究員)

臨床と研究の接点

西川公平  
CBTセンター所長  
一般社団法人CBT研究所



大阪府立大学人間社会システム  
科学研究科准教授

岩佐和典

第2部『研究と臨床を両立させるには？』  
“臨床する”研究者と“研究する”臨床家のほのぼの対談

Live配信 2021年6月18日(金) 19:00~21:00

録画配信 後日配信予定

【司会】 村中誠司  
(大阪大学大学院 人間科学研究科 人間科学専攻 助教)

- 【対象】 医療、保健、福祉、産業、教育、司法の有職専門家、基礎心理学、臨床心理学の研究者、大学院生
- 【参加費】 無料
- 【参加方法】 下記URLまたは右のQRコードからお申し込みください。  
<https://cbtcenter.jp/event/?itemid=2688>
- 【録画配信】 編集が上がり次第、順次アップします  
ミニ動画20分×3本つけて臨床心理士ポイント申請予定
- 【お問合せ】 [research@cbtcenter.jp](mailto:research@cbtcenter.jp)





大阪府立大学  
人間社会システム科学研究科 准教授

岩佐 和典



西川 公平

CBTセンター所長、  
一般社団法人CBT研究所



対談企画 第8弾

# 「痛い！」 困りごとへの心理支援

録画視聴

7/1~9/30

何度でも視聴可能！

※ 講義

約300分

- 慢性疼痛の定義とその悪影響
- 痛みよりもQOLに焦点を当てる
- 行動的な介入方法と事例
- 患者の特徴に合わせた介入

対談

120分

- 疼痛への認知行動療法の実践
- 事前質問への回答

あらゆる生物は痛みと無縁で生きられません。痛みは最も重要な感覚の一つです。

とりわけ人間は、生理的／肉体的な痛みだけではなく、心理的／精神的な苦痛をも感じながら人生を歩んでいきます。心は痛みによって左右され、痛みも心によって左右される、双方向性があります。

痛みと心の共鳴が止まなくなった「慢性疼痛」は、認知行動療法で様々に取り扱う事が可能です。

今回は、日本で数少ない慢性疼痛への認知行動療法の専門家同士で「痛い」困り事を心理的に扱う方法について対談します。対談の参考資料として『慢性疼痛の認知行動療法』講義動画がついています。

※厚生労働省令和2年度慢性疼痛診療体制モデル事業「慢性痛に対する認知行動療法の実践」の一環として、2020.10/16~2021.2/19にかけて実施したウェビナーの様子を編集したものです。

Web質問会 10月上旬

【参加対象】 医療、保健、福祉、産業、教育、司法の有職専門家、行政職員、痛みに関わるお仕事をされている方、大学院生（認知行動療法 初学者歓迎！）

【料 金】 10,000円 ※子育て支援割引、団体参加割引あり

【申込方法】 下記URLまたはQRコードからお申し込みください

<https://cibtcenter.jp/event/?itemid=2694>

【お問合せ】 onweb@cibtcenter.jp

【主催】 一般社団法人CBT研究所事務局

【共催】 厚労省慢性疼痛診療システム普及・人材養成モデル事業近畿地区、一般社団法人

【後援】 滋賀医科大学精神医学講座、滋賀医科大学ペインクリニック科、滋賀医科大学学

【協賛】 CBTセンター





伊藤 義徳  
琉球大学  
人文社会学部教授

はじめての  
マインドフルネス  
ベースドトリートメント

マインドフルネスに基づいて苦痛と距離を取り、あるがままに受け止めれば、揺らがない自分のあり方が見えてくる。

講座 マインドフルネス概要 導入方法  
対談 瞑想導入の実際と感想 適応疾患は？  
質疑 実際の臨床利用や手応え 他の治療との違い

認知行動療法に加わった2つの東洋哲学由来の介入法で、人生の苦痛に振り回される心の悪循環から抜け出し、生き方のモードチェンジが可能になる

はじめての  
コンパッション  
フォーカストセラピー

自分の内なるコンパッションを育てていけば、自然に辛く当てるモードを脱して、慈悲を向けるモードへと移行できる

講座 コンパッション概要 導入方法  
対談 開発の由来は？ 適応疾患は？  
質疑 実際の臨床利用や手応え 他の治療との違い



浅野 憲一  
目白大学心理学部  
専任講師

録画配信 8.1~10.31

Web質問会 11月上旬

講座 30分 + 対談 60分 + 質疑 60分

各研修 150分 対談者：西川公平

- 【対象】 医療、保健、福祉、産業、教育、司法の有職専門家、行政職員、基礎心理学、臨床心理学の研究者、大学院生
- 【参加費】 片方受講 5,000円 両方受講 8,000円 ※各種割引あり
- 【参加方法】 下記URLまたは右のQRコードからお申し込みください。  
<https://cbtcenter.jp/event/?itemid=2700>
- 【お問合せ】 [labo@cbtcenter.jp](mailto:labo@cbtcenter.jp)

主催 一般社団法人CBT研究所 協賛 CBTセンター

